



できごと

yoshinogawacity



令和8年熊本地震の被災地で使用する支援物資を提供しました

7月31日、市は、災害時連携協定を締結している徳島県キッチンカー協会に、令和8年熊本地震の被災地で使用する災害用簡易トイレを提供しました。

提供した簡易トイレは、断水時などでも使用できるトイレです。8月2日から被災地で炊き出し支援を行う同協会を通じて、現地へ届けられました。

△支援物資を受け取る北條理事

FC徳島が「サマーフェスタ2026」を開催

8月1日、本市をホームタウンとするサッカーチーム・FC 徳島が、市民やファンとの交流イベント「サマーフェスタ2026」を日本フネン市民プラザで開催しました。

会場では、ストリートサッカーや飲食ブース、くじ引き、ビンゴ大会など、子どもから大人まで楽しめる催しが行われました。また、選手も運営スタッフとして参加し、来場者と交流を深めるなど、会場は終始にぎわいを見せました。

FC 徳島は、市民と一体となって地域を盛り上げるクラブづくりを目指しており、今回のイベントを通じて、地域に根ざしたクラブづくりに向け、市民やファンとの交流を深めました。



△ビンゴ大会は大いに盛り上がりました

高校生が税務署のインターンシップに参加しました



△税務署職員から業務を教わる高校生たち

8月20日、21日、川島税務署で、吉野川高校・阿波高校・阿波西高校の2年生計5名がインターンシップに参加しました。生徒たちは、国税電子申告・納税システム（e-Tax）を使った申告書作成など、税務署の仕事について学びました。また、最終日には、「スマートフォンを利用した確定申告」をテーマに模擬記者発表を行い、実際の新聞記者との質疑応答も体験しました。

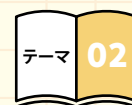
参加した生徒からは、「税務署の仕事は確定申告が中心だと思っていましたが、酒税などさまざまな仕事があることを知りました。税務署の仕事について詳しく知ることができ、良い経験になりました」と感想が寄せられました。

令和8年度吉野川市こどもまんなかプロジェクト こどもDoまんなか会議2026

こどもまんなか



テーマ 01 “こんな学校だったらいいな”を考えよう！



テーマ 02 吉野川市の“もったいない”を“もっといい”に変えよう！

8月2日、日本フネン市民プラザにおいて、こども Do まんなか会議 2026 を開催しました。当日は、小学4年生～高校3年生までの幅広い年齢層の総勢31名と本市をホームタウンとするサッカーチーム「FC 徳島」の選手2名もファシリテーターとして参加しました。こども・若者たちが投票で選んだ2つのテーマについて、市長、市議会議員、教育長とともにグループワークで意見交換を行いました。この日、こどもたちから出された貴重な意見・アイデアはこれからの市の施策などを検討する際に役立てられます。意見集約は、市ホームページにて公開しています。



市ホームページ
二次元コード

